

## 山 行 報 告 書

山行報告者：眞鍋

山 域・山 名： 横 岳 (ハヶ岳) (2825m)		(長野県茅野市)			
入山日又は期間：令和3年6月20日(日)					
プラン担当者 正：眞鍋 副：					
参 加 者	L：眞鍋 記： 報：				
	知人1名 男 1名、女 1名、計 2名				
天 候 曇り→晴→曇り					
6月19日 (土)	集合時間： 23時	集合場所： JRさいたま新都心駅			
6月20日 (日)	海ノ口自然郷駐車場・登山口(1755m)5:40→6:20 林道・貯水池(仮設トイレ有り)6:35→(杣添尾根)→11:40 三叉峰(2825m) 12:50→16:40 林道・貯水池 16:50→17:25 駐車場				
装 備 と 食 糧	共同装備：なし 共同食：なし 車提供者：レンタカー				
	個人装備： ヘッドライト、雨具、防寒衣、コンパス、地図、ホイッスル、アルミシート、簡易トイレ、テルモス、ストック 個人食： 昼食、行動食、非常食				
感 想 & 要 注 意 事 項	<p>梅雨時の横岳山頂周辺の岩場は、小さく可憐な花々が咲き乱れ心和ませる。過去にも行ってはいるが、当時ツクモグサは知らず写真にも残っていない。数日前、ツクモグサの開花情報を得たので横岳を目指すことにした。</p> <p>駐車場は狭く夜中の内に満車。多くの車が帰って行ったが、朝来た連中は路駐し出発していった。最初は別荘地の間を抜ける。林道先の貯水池に仮設トイレがあり助かった。雨覚悟で登り始めたが、雲海を抜けたようで予定外の富士山を眺められた。登り後半、開けた尾根に新道ができ展望ステージもあった。目の前に赤岳～横岳～硫黄岳の大きな壁が立ちはだかり、登るにつれてさらに迫ってきた。前回はガスってて見れなかった風景である。日差しを浴び、尾根には涼しい風が通り抜けていた。しかし、私は疲れて足が出なくなっていた。</p> <p>下山の時間を気にしながら休み休み這うようにして三叉峰の尾根までたどり着いた。しかし目的のツクモグサはなく、下山者に教わった場所まで行こうにも時間がなかった。奥ノ院(横岳山頂)もあきらめた。展望は良好！花々をよけて岩に座り、簡単に昼食を済ませ下山を開始した。笑いそうになる膝をかばいながら。</p> <p>相方はこの時期の横岳は初めてで、大変悪いことをしてしまった。①2回目だとナメていた ②太り過ぎ ③睡眠不足 ④小屋に寄らなくてもいいようにと水・食料を増やした、など反省しきり。ツクモグサに出会うため、リベンジを誓った。</p> <p>出会えた花々：イワカガミ、キバナシャクナゲ、オヤマノエンドウ、ツガザクラ、イワウメ、イワヒゲ、チョウノスケソウ、ハクサンイチゲ、ミヤマシオガマ、ミヤマキンバイ、他</p>				